「なぜシリア・ボランティアに行くのか」記者会見

2023 年 9 月 26 日

兵庫県庁記者クラブ
エラスムス平和研究所所長 岩村義雄

主題聖句: シラ書 34 章 4 節 「不浄なものの中の何が清浄になるだろうか。偽りの中の何が真実になるだろうか」(『聖書協会共同訳』)[1]

＜序＞

オリエント文明の十字路と言われるシリア・アラブ共和国(通称シリア)はシルクロードの西の終着点です。北にトルコ，東にイラク，南にヨルダン，南西にイスラエルと国境を接しています。西のレバノンと二国に分かれていますが，第二次世界大戦前は一つの国でした。もっと遡ると，北西は東地中海に面します。東はチグリス・ユーフラテス川の広域にわたります。首都はダマスカスで面積は日本の半分，人口は約 20 分の 1 です。緯度は日本とほぼ同じ北緯 33-36 度の間にあります[2]。2018 年 2 月 4-11 日に，レバノン北部のレバノン山脈とアンチ・レバノン山脈と呼ばれる二つの山脈の間にあるベカー高原を日本の兵庫県技術士平澤久紀氏[3]と訪問しました。アブラさん[4]の母親の体調が悪く歩けないと聞き，加藤清式[5]のマッサージを筆者は施術する羽目になりました。イスラーム教では異性の身体に触れることは，トラブルになります。回復へと向かったからよいものの大きなナイフで切り刻まれても抗議できない親切の押し売りでした。胸をなで下ろしました。ご褒美に「トロ」を食べさせてくれるといいます。なんと舌の上にのせたとたん，口全体に溶ける食物で二人共生まれてはじめての美味でした。それはラムだと聞いて驚きました。日本のフグ調理と同じように，シリア人でも数人しか調理の資格を持っていないと言われました。子羊を屠殺したその日の内に調理するむずかしい技術だそうです。

2018 年 5 月に，単身，バアルベック[6]を訪問しました。そこで Eckenlungerer Florian というドイツ人旅行者と初めて出会いました。巨大な神殿跡で 2 時間にわたり難民支援について論争しました。フローリアンは時のメルケル[7]首相が難民を安請け合いしているからドイツの経済を逼迫させていると口角泡を飛ばします。筆者は難民支縁をボランティアの柱のひとつにしているゆえに引き下がるわけにはいきません。180 度，難民受け入れについて異なる視点をぶつけ合いました。バアル崇拝者とエリヤ[8]が戦った聖書知識が拍車をかけたのでしょう。雨降って地固まる式にすっかり打ち解けました。10 月にフローリアンが訪日するときに会おうと堅い握手をして分かれました。

---

[1] 紀元前 200 年頃，ベン・シラ(シラの息子の意)によりヘブライ語で書かれていた。70 年後，ヘブライ語を著者の孫がギリシャ語に翻訳したことが記されている。ユダヤ教，プロテスタント教会では外典だが，ローマ・カトリック教会と正教会では旧約聖書に含めている。

[2] 拙論「世界は瀬戸際に立たされている」(第 2 次シリア報告 エラスムス平和研究所 2018 年 2 頁)。
http://kicc.sub.jp/wp-content/uploads/2019/01/5693c7995db9eb3ffcf35ac672bb6aa0.pdf

[3] 第 3 次シリア・ボランティアに向かう直前，愛知県津島のイスラーム教モスクで平澤久紀兄について言及。動画を参照。

[4] 現地で知り合ったシリア人。

[5] 妻カヨ子が癌の病魔に襲われた時，民間医療の 1914 年生まれの加藤清からマッサージを学びました。指圧を改良した施術とミルク療法で一時期日本中に席巻しました。貧しい者からは施術費を取らない加藤は宗教者に劣らない聖人でもありました。

[6] 『世界の博物館 18 シリア国立博物館』(増田精一，杉村棟 講談社 1979 年 174-175 頁)。

[7] アンゲラ・メルケル[1954-] 首相。16 年にわたるドイツ長期政権。100 万人超の積極的な難民受け入れ。

[8] 経典の民であるイスラーム教，ユダヤ教，キリスト教にとり，エリヤは旧約聖書の預言者のひとり。紀元前 9 世紀前半に北イスラエル王国でバアル預言者，アハブ王，イゼベルに対して，「あなたは王たちを破滅させ 名士たちをその寝床から引きずり降ろした」(シラ 48:6)。

目次

(1) シリアを目指した理由
a. なぜ危険なシリアに出かけたのか 3
b. シリアはどんな国か 4
c. イブラヒム・アレッポ大主教はシリアでどんな活動をしていたのか 5

(2) シリアの内戦は西側脳では理解できない
a. アサドは専横な独裁者か 6
b. なぜ大主教はアサド政権を支持したのか 7
c. 誘拐したのはどんな組織なのか？ 犯行声明は出たのか？ 誘拐の理由は 8

(3) なぜシリア国アレッポに孤児の家
a. アレッポ大主教はなぜ岩村に孤児のホームを願われたのか 9
b. 2000 年間のアラブ・オーソドックス 10
c. 経典の民の「共生」 11

行き倒れのシリアの孤児ナディーム君(13 歳) 2023 年 8 月 8 日 Hamura

(1) シリアを目指した理由

a. マー・グレゴリオス・イブラヒム(シリア正教アレッポ大主教)との出会い

筆者がなぜ危険なシリアに行くようになったかから話します。

イブラヒム(シリア正教アレッポ大主教 1948 年生)とは京都で開かれた世界宗教者平和会議 WCRP(World Conference of Religions for Peace)で初めてお会いしました[9]。Skype を通じて，交友が深まり，2012 年に京都の WCRP の国際会議で再会しました。大主教の参加目的は宗教者間の対話から自国の内戦勃発について祈りの課題に含めること，惨状について報告をされました[10]。個人的に休憩時間にアレッポに孤児の家を建造してほしいと要請されて約束を交わしました[11]。

とりわけシリアの宗教面について日本ではあまり知られていません。何が日本や「グローバルノース」で正確に伝わっていないか，自分の目，耳，現地の人々の息づかいから問うたこともボランティア道の大事な要素でした。

神戸国際支縁機構，「カヨ子基金」はネパールならヒンドゥー教，トルコならイスラーム教，ベトナムなら仏教などの聖職者や信徒たちと接する機会が多いです。2017 年から建設してきた児童養護施設も現地の寺院，聖堂，教会関係者を無視しては，達成できませんでした。

日本のメディア界の視線は紛争地，テロ，人質事件には関心が高いです。しかし，宗教が社会の重要な構成要素であることについては認識がありません。とりわけ中東についてはニュース伝達は旧態依然のままです。2023 年 9 月 10 日のモロッコ，リビア 2 ヵ国の地震，ダム決壊についても首をかしげます。後者リビアについての日本国内報道は，ダム決壊についてはほとんどふれないか全く言及していませんでした。地中海ハリケーン，異常気象，降雨量にしか関心が寄せられていない記事ばかりでした。日本からのカイロ特派員の寄稿記事も同じ論調でした。情報の信頼性の面で，イスラーム教の信頼できるAljazeera（アルジャジーラ），al-Arabiya（アル・アラビーヤ）などよりも，BBC, CNN，ロイター共同などを信頼していることがアキレス腱となっています。日本では，宗教情報になりますと，興味本位で報道されるか，敬遠される傾向があるからでしょう。

2017 年 6 月，イタリア中部アマトリーチェ地震被災地へ神戸から単身訪問[12]。298 名が災害死でした。その 8 年前の 2009 年 4 月 6 日 3 時 32 分，最大の地震マグニチュード 6.3 が古都ラクイラを襲いました。死者 309 名(伊 ANSA 通信)。家の損壊数千だけ。ラクイラも訪問。2009 年の爪痕は癒えていませんでした。2009 年 3 月 31 日，民を安心させる作戦のためテレビなどで「安全宣言」がなされました。その誤報により，7 人の地震予知委員会，学者たちは有罪，実刑が宣告されたのです。一方，否定の論理が徹底しない日本では，フクシマ原発の安全神話を繰り返した学者，メディアに一切，おとがめなしです。日本の学者，マスコミ，政治家は，「地震予知は極めて困難」「当時は大地震発生の可能性はとても少なかった」などと言い訳を繰り返したにすぎません。

---

[9] 拙論「宗教間の対話」(神戸国際キリスト教会 ホームページ)
http://kicc.sub.jp/ecumensty/%E5%AE%97%E6%95%99%E9%96%93%E3%81%AE%E5%AF%BE%E8%A9%B1/

[10] 「多くの人が家を失い，虐殺が続き，すでに三万人以上の人々が亡くなった。国民の安全は全く保障されていない。国家が崩壊し分断されようとしている。シリアを抑圧する悪の手から自由にしなくてはならない。多くの市民が故郷に帰ることを熱望している。すべてのシリア国民が尊厳と信頼を取り戻し，流血を止めるために，皆さんの支援と祈りを」と。

[11] 「なぜシリアには冷たいの？」(『クリスチャントゥデイ』(2023 年 2 月 10 日)
https://www.christiantoday.co.jp/articles/31981/20230210/why-is-the-world-so-cold-to-syria.htm

[12] 第 1 次イタリア地震ボランティア(2017 年 6 月 5 日～10 日) http://kisokobe.sub.jp/international/9200/
ウィキペディアの「イタリア中部地震 (2016 年 8 月)」には，“神戸国際支縁機構，イタリア中部地震の緊急救援募金受け付け開始”. CHRISTIAN TODAY (2016 年 8 月 25 日). 2016 年 8 月 29 日閲覧。
拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか―第 1 章」(WCRP 平和大学講座 2022 年 10 頁)。

ボランティア道のために，筆者はタウン誌などを含めると 8 紙購読しています。それらの報道紙面，とりわけ小さなコラム，読者の声，地方の息づかいから啓発されています。事実の裏付けのため，近くの複数の図書館を活用しています。すると図書館で難解な書籍も多くの人々が読んでいることに気づかされます。外観が活字離れのように思えても，新聞社の価値は大きく，今の時代に必要な仕事であることは真実です。マスコミというツールはコモン([13]共有財)です。

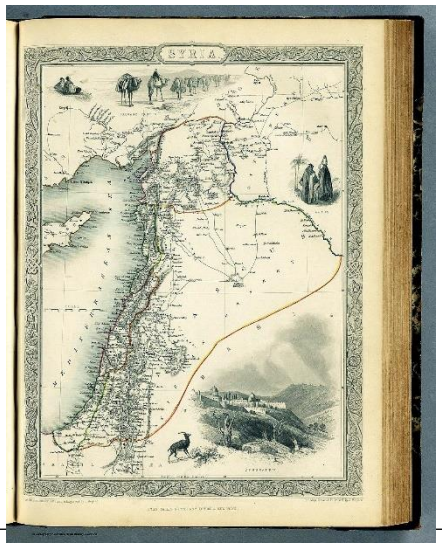
しかし，筆者には現地で命がついえた同胞の思いを消し去ることができない事件がありました。

シリアへの挑戦は，キリスト者後藤健二[14][1967-2015]記者がなぜイスラーム国[15]によって殺害されねばならなかったのか。後藤記者がアレッポで銃弾の犠牲になられた山本美香[16][1967-2012]記者についてコメントなさっていた生前の放映も脳裏から離れなかったことも影響しています。

出典が思い出せませんが，元 NHK テレビディレクターである志村建世(たてよ)[1935-]は，「真実と嘘とが入り乱れて戦うときは，たいてい真実が負けます。嘘の方は，必要に応じていくらでも新しく作れるが，真実は一つしかないので同じことを繰り返すしかありません。包囲されて力尽きます。真実が姿を現すのは，時が過ぎて平和になった後でしょう」，と述べておられました。

主題聖句は，筆者に対して，多くの虚偽，大国の思惑，人類史上最大の難民の悲劇にあって，「真実」を追究する眼，「偽りの中の何が真実」という思いへと駆り立てるものなのです。

b. シリアはどんな国か



拙論「世界は瀬戸際に立たされている―人道上人類歴史最大の悲劇」(2018 年 2-3 頁)。

シリアは西アジアの西の部分にあって，私たちが訪問した 2018 年 2 月 7 日，シリア西境のアンチ・レバノーン山脈には深雪に覆われていました。

他のアラブ諸国の街と比べてみると，シリアの首都ダマスカスは森が多く，バラダ川が中心に流れています。エジプトのカイロはナイル川流域ということですけれど，砂漠の中の都市というイメージがあります。しかし，ダマスカスはオアシスらしい生活習慣があって，決して川自身はきれいではありませんけれど，人々はお茶とか，お弁当とかを持って，夕涼みを楽しんだりします。ダマスカスの人たちは自分たちのことを「シャーミ」と言われます。「シャーム」というとアラブ世界において数少ない穀倉・農耕地帯であるシリア地方(シリア・レバノン・パレスチナ・ヨルダン)を指します。

---

[13] 慣習法(コモン・ロー)で言うところの公的空間はコモンズではない。それは地域コミュニティによってではなく，国家によって創り出された領域なのであるから。……コモンズは文化的空間であり，私の所有するもののかなた，私の側にある荒地のかなたに存在している。……コモンズは多孔的である。同じ地点が，さまざまな人々によって多様な目的のために利用されうる。法律ではなく慣習が，コモンズを保護している。いかなる法律も，慣習の複雑さを吸収し尽くせるほど充分な柔軟性は持ちえない。『現代文明の危機と時代の精神』(エコクラシーへの挑戦 イバン・イリイチ 山崎カヲル訳 岩波書店編集部 1984 年 36 頁)。
イヴァン・イリイチ [1926-2002] オーストリア生まれ哲学者。1950 年頃に研究のために立ち寄ったニューヨークでプエルトリコ人のスラムに遭遇。ニューヨーク司教に願い出てプエルトリコ人街の教会の神父として赴任(1951 年)。当時，アメリカ最下層で暮らすマイノリティーの人々のために奔走する。ウィキペディア。

[14] 宮城県仙台市出身のフリーランスジャーナリスト。日本基督教団代々木上原教会のメンバー。イスラーム国によって殺害される。

[15] 「イスラーム国」(ISIL アイシル Islamic State in Iraq and the Levant)

[16] 北海道生,都留文科大学卒。 朝日ニュースターの報道記者,ディレクターを経て 1996 年より独立系通信社ジャパンプレスに所属。アフガニスタン,イラクなど世界の紛争地を取材。シリア国アレッポにて銃弾の犠牲になった。

元来は，「大シリア」と呼ばれる文化的共通地帯でした。

メソポタミア地方は農耕に適した肥沃な三日月地帯と呼ばれています。遊牧民であった部族が定着して大都市が誕生していきます。アラビア語 Bilād al-Shām(ビラード・シャーム)のビラードは balad (バラド ＜国の意＞)の複数形であり，種々の宗教，民族，クルドなどのエスニック集団など多様なモザイク社会[17]です。

シリアは，かつてのヨルダン，レバノン，イスラエルなど全部を含めての地域を指していました。

栄耀栄華を極めたソロモンの支配区域は東境のユーフラテス川から南はエジプト，北は現在のトルコのアンティオキア，西は地中海のキプロス島までが版図でした。

やがて，アッシリア，バビロニア，メディア・ペルシアなどの強国が交替しながら支配していきました。アレクサンドロス[アレキサンダー]大王[紀元前 356-323]，ローマ帝国にいたるまで東西交易の中心となりました。国際都市パルミラはアラム人，アラブ人，ペルシア人，ユダヤ人が住みついていました。

7 世紀にイスラーム教の預言者ムハンマド[モハメッド Muḥammad 570 頃-632]が生まれ，イスラーム教徒の勢力が爆発的に増え，ウマイヤ朝時代にダマスカスが首都になりました。

クルド人サラディン[18][1137-1193]は十字軍を駆逐します。しかし，キリスト教徒にはエルサレム巡礼を認め，サラディンは捕虜を寛容に，丁重に扱います。オスマン・トルコ帝国の時代になってもイスラーム教はシリアの人々の求心力でした。

c. イブラヒム・アレッポ大主教はシリアでどんな活動をしていたのか

イブラヒム・アレッポ大主教は，アラム語(シリア語)以外にアラビア語，英語，フランス語を流暢に話されました。自分の国のバッシャール・アサド[19][1965-]政権を否定していませんでした。大主教はシリア国内では在外勢力や，外国とは結託しない方針を貫いておられました。筆者がキリスト教徒の圧倒的に少ない日本人であっても同じカトリック[20]なので，信頼できると判断されたのでしょう。政権に対する反対勢力とは行動を共にしてこなかったと私に語られました。大主教は地下活動をしている表に出ない反政権運動とは一線を画してきたのです。政権は父ハーフィズ・アサド[1930-2000]の死後，2000 年 7 月に発足しています。日本では東日本大震災で日本中の茶の間の番組が未曾有の大地震，津波を流し出していました。一方，中東では，「プラハの春」[21]に倣って，チュニジア[22]から「アラブの春」の波が拡がりました。21 世紀に入り，インターネットの普及により，フェイスブック，ツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が即時的な拡散機能，匿名性，攻撃性を付加して影響を及ぼしました。「アラブの春」は長年にわたって強固な政権を築き上

---

[17] イスラーム教スンナ派 76.31%，イスラーム教アラウィー派 12.5%，イスラーム教その他 3.5%，キリスト教徒 7.66%，ユダヤ教徒 0.03%。Collelo [1988:63], Middle East Watch [1991:90]をもとに，東京外国語大学教授青山弘之[1968-]が作成。
その他の宗派の人口比―ドゥルーズ派 3.17%，イスマーイーリー派 033%。
キリスト教各派の人口比―ギリシャ正教徒 2.67%，ギリシャ・カトリック 1.33%，シリア正教徒 1.17%，シリア・カトリック 0.37%，アルメニア正教徒 1.30%，アルメニア・カトリック 0 20%，マロン派 0.25%，アッシリア教徒 0.13%，カルディア・カトリック 0.08%，ローマ・カトリック 0.08%，プロテスタント 0.08%。『混迷するシリア』(青山弘之 岩波書店 2012 年 4 頁)。

[18] サラディン[1137or1138-1193 Ṣalāḥ ad-Dīn] アラブと十字軍の 50 年以上にわたる覇権争いに終止符を打ち，十字軍から聖地エルサレムを奪回したイスラーム歴史における最高の英雄。

[19] ハーフィズ・アサドの次男。2000 年以降在位。医師,アラウィー派。第 5 代大統領。

[20] 日本では，「カトリック」と「ローマ・カトリック」を同じと思われている。前者を後者の短縮形と思いこんでいる。しかし，中東では，正確には「カトリック」というのはすべてのキリスト教徒を包括している。

[21] チェコスロバキアで，1968 年 4 月に始まった自由化政策。「人間の顔をした社会主義」を掲げて民主化運動をドプチェク共産党第一書記が展開。言論の自由化や市場原理の導入などを図ったが，8 月にはソ連軍と東独軍が武力弾圧。

[22] 全国規模で政権打倒の民主化デモが拡大。そして 1 か月も経たない 2011 年 1 月 14 日にベン・アリ大統領は国外逃亡を余儀なくされ，23 年間続いた独裁政権が実にあっけなく崩壊。(日本外務省)

げてきたチュニジアとエジプト[23], リビア[24]の政権をあっけなく崩壊させました。

アラブ諸国において,「アラブの春」がシリアに波及した時期は最も遅いと言えます。「『シリア革命2011』と銘打って始まった抗議運動は, 混乱のなかで武装闘争へと変容する一方, 諸外国の干渉を招いており, 感情論や『アラブの春』の通俗的なステレオタイプに依拠するだけでは到底理解し得ない」, とアラブ地域研究者である青山弘之教授[25]は述べています。2002 年 1 月 アメリカの指定する「悪の枢軸国」とシリアも名指しされます。それでも, イブラヒム大主教は「アラブの春」に同調することはなく, アサド政権を批判的に語ることをしません。なぜ無辜の民が虐殺され, 孤児が路頭に彷徨い, 3 万人以上のシリア人の生活が逼迫しているのに, 宗教者として体制に抗うことをしなかったのでしょうか。

(1) シリアの内戦は西側脳では理解できない

a. アサドは専横な独裁者か

日本では, アサド政権がシリアの民衆を抑圧しているという一義的な見方が定着していました。しかし, 大主教の来日時の発題, 対話, 検証してみますと, 真逆でした。検証するとは, 学問自身の知的構造への疑義でした。中東, シリアの権力支配の実態の解明へ向かうようになります。すると2012 年 1 月 26 日,「ヨシュア記のポストコロニアル批評」と聞き慣れない思想を神戸バイブル・ハウスの聖書セミナー[26]で関西学院大学の水野隆一教授から聴きました。「ポストコロニアリズム」とは, 西洋によって植民地化された文化全般の研究, 帝国主義文化圏の文学において植民地がどのように描かれているかの分析です。聖書が書かれた中東の地「オリエント」は,「バルフォア宣言」[27]後, 米国, ヨーロッパによって蹂躙されてきたということが他人事ではなく, 筆者自身の思いに刻まれました。

「知ろうとしないことの実践, 愛国的なレトリックで本物の政治や本物の歴史や本物の道徳問題を覆い隠すことによって無知を助長し, 読者の目をふさごうとするものなのだ」, と強弁する E.W.サイード[28]の提言が心に刻まれました。なぜなら山本美香, 後藤健二記者たちは「ポストコロニアリズム」が原因で犠牲になったとするなら, 無知の罪は見過ごすことはできないからです。グローバル化した軍事力と経済搾取に基礎づけられた構造的な暴力[29]が地球を覆っているのです。

職業軍人らしい父親のハーフィズ・アル＝アサドの強権と異なり, 息子バッシャール・ハーフィズ・アル＝アサドは, 眼科医の医師でもあり, 疾患の患部を治療する技法を政治にも応用しました。2011 年 3 月に勃発した反政府運動に対しても, 改革志向とライカビリティ(親しみやすさ), 懐柔策

---

[23] 2011 年 1 月 25 日以降, 国内で反体制デモが発生。首都カイロをはじめ, 全国各地でデモに参加する市民の数が増え続け, 同年 2 月 11 日, ムバラク大統領が国軍最高会議に権限を委譲し, 30 年に及ぶ長期政権が崩壊。(日本外務省)

[24] リビアでは, 40 年以上にわたって政権を担ったカダフィ独裁政権が崩壊。国が東西に分裂して内戦状態に陥る。エジプトも強権的な政権になり, チュニジアを除いて,「民主化」の成功例はない。イエメン, リビア, シリアは混戦, 内戦に陥った。

[25] 『混迷するシリア』(同 71 頁)。

[26] 60 年ぶりに再建された神戸バイブル・ハウスで, 筆者は日本聖書協会主催の聖書セミナー委員長(2003 年 5 月～2013 年)担当。2012 年 1 月に 5 週連続「聖書を読む―文芸批評的アプローチ」の 3 コマ目。

[27] 第一次世界大戦末期の 1917 年 11 月 2 日, 大英図書館で, イギリスが大戦後にパレスチナにユダヤ人の国家を建設することを認めた宣言。外相アーサー・バルフォア[1848-1930]がロンドンのウォルター＝ロスチャイルド(ユダヤ系財閥)と交わした。ロスチャイルドは当時ユダヤ人のパレスティナへの移住と建国を目指すシオニズム運動の代表を務めていた。

[28] 『戦争とプロパガンダ 2』(E.W.サイード 中野真貴子訳 みすず書房 2002 年 34 頁)。
「プロパガンダ」プロパガンダ propaganda (ラテン語 congregātiō dē＜「種を蒔く」,「広がる」の意＞) グレゴリウス 15 世[1554-1623]が 1622 年に創設。ローマ・カトリック教会の布教聖省「Congregatio dē Propaganda Fide (信仰を広めるための会衆)」から 18 世紀にローマ・カトリック教会の海外伝道のために設けられた組織 congregation (L con-+together+regis flock)ができた。『英和中辞典』(旺文社 1993 年 426 頁)。
"Webster's 3rd New International Dictionary" Merriam Webster; Indexed, Unabridged,1993,p.1817。

[28] 『平和の神学』1938-1965 (パウル・ティリッヒ 新教出版社 2003 年 98-99 頁)。"*Theology of Peace*" Paul Tillich Westminster John Knox Press 1990。

[29] 『非暴力による平和創造』(木村公一 いのちのことば社 2023 年 102 頁)。

を巧みに用いました。日本政府が市民の自発的活動を奨励しながら，民間のボランティア団体を吸収し，「官製 NGO」を量産していく手法です。それらを官僚の下部組織に呑み込んでしまいます[30]。

2011 年，シリアが「アラブの春」の直撃をもろに受けても，政府転覆にいたらなかった経緯も確認しておきたいと思います。

b. なぜ大主教はアサド政権を支持したのか

「アラブの春」が押し寄せる 11 年前にバッシャール・ハーフィズ・アル＝アサド政権が 97％の得票率で大統領選に勝利し，父親から政権を引き継ぎました。その後，シリアの民衆は体制に抗う瀬は三度巡ってきました。一度目は，「ダマスカスの春」，二度目は，「カーミシュリーの春」，三度目は，「ダマスカス宣言運動」の機でした。

「ダマスカスの春」について，青山教授は詳述しています[31]。

「活動主体については，それまでの運動がシリア・ムスリム同胞団やシリア国民民主連合といった 政治組織によって主導されてきたのに対し，『ダマスカスの春』は，前政権に不満を持ちながらも，沈黙を余儀なくされていた弁護士，医師，作家，教師，研究者など『有識者』と呼ばれる人々によって担われた。政治目標については，体制転換ではなく『市民社会』の確立が前面に押し出された。そして活動形態については，政治結社とは一線を画す文化会議(muntadā thaqafi)という場が設けられた。市民社会の確立をめざす運動体，ないしは市民社会の構成機関と位置づけられるこの会議は，主催者の自宅で定期的に会合を開き，有識者を招聘し，政治，経済，社会，宗教といった問題に関する講演を行わせ，その内容について出席者が自由に討論することを目的としていた。

『ダマスカスの春』における改革要求は，2009 年 9 月にミシェル・キールー，アーリフ・ダ リーラ，ブルハーン・ガルユーンら有識者 99 人が連名で発表した『99 人声明』と，翌年 1 月に 1,000 人以上が署名した『基本文書』によってその骨子が示された。この二つの声明は，『アラブの春』波及後に声高に要求されることになる非常事態令の解除，政治犯の釈放，国外逃亡者・追放者の帰国許可，法治国家の実現，一般的諸自由の保障，政治的・イデオロギー的多元主義の保障， そして市民社会活性化を目的とする諸組織(市民社会再生諸委員会)の発足などを求めていた」，と。

2004 年 3 月，「カーミシュリー(Qamishli)の春」が起こりました。国を持たないクルド人による民衆運動です。カーミシュリーは，トルコ国境に近いハサカ行政地区における主要都市です。シリア国内のクルド民族主義政党は，体制転換ではなく，体制内改革を求める運動を展開しました。シリア国籍をもたないクルド人は米国の介入により，ハサカ県でシリア政府軍の弾圧を阻止しています。国内のアラブ民族主義政党，マルクス主義政党，クルド民族主義政党が団結して，要求しましたが，シリア政権は暴動沈静化させながら，決して妥協しませんでした。

三番目に，「ダマスカス宣言」運動です。2005年2月，レバノン国ラフィーク・ハリーリー首相が白昼暗殺されました。シリアが宗主国，レバノンは属国のような関係は第二次世界大戦以降から78年間続いています。レバノンの民衆は犯人が特定できない不満をシリアに矛先を向けます。アサド政権に，非常事態令の解除，政治犯の釈放，国外逃亡者・追放者の帰国許可，一般的自由

---

[30] 拙論「春学期の『現代キリスト教弁証学』」(中央聖書神学校 Central Bible College 2023 年 4 月 26 日 23 頁)。 個人が始めた海外協力青年奉仕隊, JICA，青団連(青少年団体連絡協議会加盟団体)などは今や公的組織になっている。

[31] 『混迷するシリア』(同 61-70 頁)。

の保障などを要求しながら，レバノン国民はアサド政権打倒ののろしをあげました。しかし，R.ハーリーの暗殺犯の特定へとヨーロッパの司法関係者が犯行現場の証拠，証人， 目撃者の言質を徹底的に調査しましたが，迷宮入りになります。ヒズボラ説などが浮上してはもみ消されていきました。

以上の三段階においても，アサド政権崩壊につながりませんでした。シリア正教会などのアラブ・オーソドックスをはじめイスラーム教の宗教者も体制打倒運動に巻き込まれなかったことも幸いしました。

a. 誘拐したのはどんな組織なのか？ 犯行声明は出たのか？ 誘拐の理由は

アサド政権に反旗をひるがえしていなかったイブラヒム大主教はなぜ，だれによって2014年，誘拐されたのでしょうか。

2013年4月22日，イブラヒム大主教とアレクサンドリアの大主教であるブロス・ヤズィヒ師はトルコとの国境近くの村を車で運転中に武装グループによって襲われました。武装した人々は乗っていた4人に車から降りるように命じました。運転手ファタッラ・カブウド氏がその場で殺害されました。二人の主教と，もう一人の所在は不明となりました。シリアの政府，反政府勢力双方が相手の仕業と糾弾しています。イスラーム主義者からも犯行声明が出ていません。10年を経ても謎に包まれています。

筆者の憶測の域ではありますが，大主教が誘拐された1ヵ月前の3月12日に，よく似た拉致がありました。トルコ側国境近くのイドリブ県北部アトメ近郊で英国人David Hainesが乗った車がイスラーム国戦士に追跡され捕まりました。Hainesはシリア人人道支援に携わっていました。イタリア政府は身代金を払ったため同乗者のイタリア人Fedrico Motkaは釈放されました。一方，Hainesは，イスラーム教徒を差別することへの復讐としてデーヴィッド・キャメロン[32][1966-]首相に対する見せしめに斬首されたのではないでしょうか[33]。幾世紀も，イブラヒム大主教たちはイスラーム教徒を差別をせず，共存してきましたから，イスラーム国の人質として，拷問，オレンジ色[34]の囚人服を着せられたとは筆者は考えられません。最後の終章を目撃していないので，断言はできません。

シリアの首都ダマスカスで2008年2月12日，自動車爆弾が爆発し，「ヒズボラ」軍事部門最高幹部イマード・ムグニヤが爆破されたことなどがありましたが，少数派キリスト者の高位聖職者が危害にさらされることはシリアではありませんでした。誘拐の理由もいまだに謎です。

さて，後藤健二記者は，日本基督教団代々木上原教会のメンバーであり，筆者にとり同じ信仰観をもつ兄弟でした。

ISIL（イスラミック・ステート，イスラーム国）によって殺害されました。加害者は明白でした。犯行声明も出ていました。誘拐の理由は，ヨルダンに囚われているイスラーム国の仲間の釈放が条件でした。しかし，殺害された真因はなんでしょうか。2015年の後藤健二さん，湯川遥菜（はるな）[1972-2015]さん[35]が「イスラーム国」によって殺害された経緯は日本だけでなく，各国でも多くのメディアが報道しました。イタリアの「Il Sore 24 Ore」は，後藤健二さんが2015年1月30日に殺害されてしまったのは，安倍

---

[32] デーヴィッド・キャメロン[1966-] 英国保守党党首,イギリス首相[在任 2010-2016]。

[33] https://www.bbc.co.uk/news/uk-29086517。

[34] 拙論「民主主義の限界」(関西大学 2023 年 10 頁)。イラクのアブグレイブ刑務所やキューバのグアンタナモ米軍刑務所で，米軍が捕虜をオレンジ色の服に着替えさせて虐待したことに対する報復。

[35] 湯川遥菜は，民間軍事会社(PMC Private Military Company) の実績を作ろうとしたのか，自身のブログに「国際民間軍事業，国内外警護，海上警備，後方支援業務，紛争地域での護衛など」と紹介している。IS が調べれば要注意人物に映ったのは必定。また IS の兵士が「カメラマンはこんな格好をしていない。なぜ銃を持っている？ おまえは FSA（自由シリア軍）の兵士か？」と追及している場面がユーチューブに出ている。傭兵説も浮上する中で，軍事評論家の田母神俊雄（たもがみ）[1948-]元航空幕僚長との面談の画像がフェイスブックにもあったりもした。不可解である。

晋三首相のせいと報道しました。イタリアだけでなく，アメリカなど各国も発信しました。日本の首相が2015年1月17日，カイロでの演説において，中東地域にイスラーム国対策として約2億ドル(約230億円)の非軍事的支援すると表明したことに起因すると述べていました。なぜならISILが1月20日，同じ金額を身代金として要求したからです。しかし，決定的にイスラーム国を激怒させたことは西側脳では理解できません。それは2015年1月19日に，安倍首相がビンヤミン・ネタニヤフ・イスラエル国首相と首脳会談をしたことによります。安倍総理は「卑劣なテロはいかなる理由でも許されず，断固として非難する」と述べました[36]。

健二さんを殺害する時，処刑人ジハーディ・ジョン[1988-2015 ニックネーム 本名モハメド・エムワジ]は，英語で「安倍」のせいであると述べています。しかし，西側のほとんどの報道は身代金2億ドルに言及しています。イスラエルとアラブの深い溝，および1948年のイスラエル建国により，アラブ諸国，パレスチナがイスラエル・米国連合の軍事攻略，住み慣れたふる里からの追放，搾取などの抑圧については黙殺しています。

9・11テロ以降，そんなテロを製造した軍需国家アメリカに対してでさえ，健二さんは述べました。「目を閉じて，じっと我慢。怒ったら，怒鳴ったら，終わり。それは祈りに近い。憎むは人の業にあらず，裁きは神の領域。－そう教えてくれたのはアラブの兄弟たちだった」，と，

健二さんは，人質になった湯川遥菜さんの救出に向かい，イスラーム国に拘束されてしまいました。

イブラヒム大主教も誘拐されて10年。一切の手がかりがなく，シリア正教会も生存の確率はゼロに限りなく近いと考えています。だれが，何の目的で誘惑したのか不明なままです。

(2) なぜシリア国アレッポに孤児の家

a. アレッポ大主教はなぜ岩村に孤児のホームを要請されたのか

2006年，京都の世界宗教者平和会議WCRPでイブラヒム大主教が講壇から語るメッセージは聴衆の印象に残りました。キリスト者でありつつ，イスラーム教に対する寛容な姿勢は印象的でした。非寛容な制度宗教と異なる意見に目から鱗でした[37]。さらに，イスラーム圏からの宗教者たちが「イラクで対立するスンニ派やシーア派のイスラーム教指導者ら」の内に，結束が必要であると発題されました。前年度まで，イランの大統領であったモハムド・ハタミ[38][1943-]の温かい人柄，聡明かつ今，人類にとって何が必要か語る骨子は聴衆から万雷の拍手を受けました。つまり宗派対立の虚実について大国の操作があることが白日の下にさらされました。宗派は政治的な目的のために道具として利用されているのです[39]。

その時，世界的に有名なローマ・カトリック教会の神学者ハンス・キュング博士[40]とも昼食を共にしました。イスラーム教の聖職者，非カルケドン派のアッシリア東方教会，アンティオキア東方教会，コプト教会，アルメニア教会の聖職者たちとも食事を共にするエキュメニスティの大切さを学びまし

---

[36] テレ朝(2015年1月19日) http://www.tv-asahi.co.jp/ann/ 『ジアーディ・ジョンの生涯』(ロバート・パーカイク 野中香方子訳 文藝春秋 232-233頁)。

[37] イランのハタミ前大統領も世界平和のために宗教者の役割を確認しあいました。拙稿『KBH ニューズレター』(2012 年 8 月 2 頁)。

[38] モハマド・ハタミ[Moḥammad Khātamī 1943-] 1997 年～2005 年イラン大統領。9・11 テロの翌年，2002 年にイランは悪の枢軸と米国ジョージ・W・ブッシュ[1946-]から非難される。拙論「解放の神学とは何か(1)」(神戸国際キリスト教会 2021 年 1 頁)。

[39] 『シーア派とスンニ派』(池内恵 新潮選書 2018 年 45 頁)。現在の中東政治において，宗派主義は最も効果的な政治的ツール……現に広く用いられており，今後も用いられていく。

[40] ハンス・キュング[1928-2021] ローマ教皇無謬論を否定し，ミシオ・カノニカ *missio canonica*[＜教会の任命の意＞1979 年教皇庁教理省は神学教授としての任命を撤回]教会の剥奪されたローマ・カトリック教会の神学者。1962 年に，教皇ヨハネ 23 世[1881-1963]より第二次バチカン公会議の公式神学顧問に指名。拙論「解放の神学とは何か(1)」(神戸国際キリスト教会 2021 年 3 頁)。

た。「エキュメニスティ」は超宗教,一方,「エキュメニカル運動,エキュメニズム」はキリスト教界の一致した働きに用いられます[41]。

イブラヒム大主教が2012年に，休憩時間に筆者にアレッポに孤児の家を作る話題になったいきさつを話します。2006年にはじめてお会いした時には，筆者がヘブライ語(イスラエル国の公用語)教師であるばかりか，東京のイスラエル大使館のイツハク・リオール大使たちとの交友があること，大使館関係者が関西方面に赴く時，筆者が呼ばれていました。イスラエルはモサドという諜報機関が世界中で暗躍しています。そうしたこともあり，2006年の時は，大主教とは儀礼的な関係にすぎませんでした。そのような目に見えない溝がありましたが，6年後の2012年には，筆者のことについてよく調べておられました。(社)神戸国際支縁機構の発足のいきさつについて，調べ，活動，理念を把握された大主教は米国の福音派と一線を画していることも熟知しておられました。

聖書原語であるヘブライ語に精通しているのはキリスト教会の牧師だからという理由で疑義を免れたのでしょうか。そうではありませんでした。シリア正教会の聖職者にとり，三つの面で日本人を信頼することができたことが会話の中に出てきました。

① イスラーム教との共同歩調していること 「宗教間の対話」[42]。
② アメリカの軍事支援批判 (社)神戸国際支縁機構発足のコンセプトへの理解
③ キリスト教福音派批判　エラスムス平和研究所のホームページ[43]。神戸国際キリスト教会が非戦グループに属している[44]。

2012年8月3日，イブラヒム大主教と手を取り合い，内戦で3万人の無辜の民が犠牲になっていること，とりわけ家，家族をなくした孤児たちについて，涙して祈り合いました。日本から孤児の世話をすることを願い出られました。たとえ5人でもいいから大人になるまで共同生活できる「場」をと具体的に祈りの中にありました。土地の費用は現地負担でみつけるから，建物，および教育費を日本から支援してほしいという理由でした。東北ボランティア，シリア入国の困難さ，交通費などの工面ができず2017年まで延びてしまいました。

b. 2000年間のアラブ・オーソドックス

アラブ・オーソドックスはイスラーム圏で，エキュメニスティにより「共生」し続けています。

レバノン出身の神学者ジャン・コルボン Jean Corbon 神父は語ります。「『アラブの教会』“L' eglise des arabes”という言葉であらわし，アラブ人の中で証しする教会，『世界のための教会』，そして単に自己陶酔的(ナルシスティック)でない教会，……政治的選択は個々のキリスト教徒が自由に決定できるものとされている。政治的多元主義は受け入れられるばかりでなく，推奨されている」[45]。残念なことに，欧米のキリスト教界は，アラブ・オーソドックスによるイスラームとの「調和した関係」エキュメニスティについて，障害物とみなしています。アラブ・オーソドックスのアイデンティティを理解できないのです。

---

41 ホームページ神戸国際キリスト教会の「エキュメニスティ」参照。
42 「宗教間の対話」神戸国際キリスト教会のホームページ。
筆者が英国ロンドン世界イスラーム教大会において「イスラーム教はテロではない」とスピーチ。
43 エラスムス平和研究所のホームページ。
http://kicc.sub.jp/%E3%82%A8%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%A0%E3%82%B9%E5%B9%B3%E5%92%8C%E7%A0%94%E7%A9%B6%E6%89%80/
44 「キリスト教と非戦」(OCC カレッジ講義 エラスムス平和研究所 2015 年)。
45 『中東キリスト教の歴史』(中東教会協議会 村山盛嗣・小田原盛忠訳 日本基督教団出版局 1993 年 73 頁)。

ユダヤ教，キリスト教，イスラーム教は「経典の民」という共通項があります。アラブ・オーソドックスも，ありとあらゆる方法で教会は自らの隣人であり，また同じ市民であるイスラーム教の人々との生きた対話を交わしてきました。アラブ・オーソドックスの神学者の中には，イスラーム宗教思想との神学的対話の糸口を切り拓いてきた人々もいます。アラブ・オーソドックスのエクレーシアは，中東のアラブ人全体の苦難，パレスチナの悲劇，シリア難民について自分のこととして痛みを共有してきました。

アラブ・オーソドックスの諸教会は，イスラーム教が 7 世紀に誕生した際，イスラーム教が広まることについて，自分たちの「解放」につながると歓迎しました。実際には，イスラーム・コミュニティでは，「保護民」(アハル・アル・ジンマ)の身分が与えられました。8 世紀以降もイスラーム教信者とアラブ・オーソドックスの信者は文化的，知的な対話を展開しました。イスラーム教哲学，科学，思想と神学上の論議を展開しました。ムハンマドについて，アラブ・オーソドックスは「預言者たちの道を歩んだ」(サルークフ・フィ・サビール・アル・アンビヤ　Saluk fi sabilul Anbiya)と解釈し，イスラーム教教師(スーフィー)たちに大きな影響を与えました。

トルコ近代史が専門の歴史学者新井政美は，「14 世紀中頃にテサロニケ(サロニカ)の主教だったグレゴリオス・パラマスが書き残したところによれば，『トルコ人』たちは，アラブ・オーソドックスを，同じ一神教の仲間，究極的にはイスラームと一致しうる宗教とみなしていた」，と認識を示しておられます。「オスマン支配下の社会では，イスラーム教徒とキリスト教徒の共生が，当然のこととして実現されていた」，と同書の 13 ページでも指摘しています。

c. 経典の民の「共生」

「超民族的視座」：創造の教理に基づいた超越論的存在に対する精神的，宗教的自意識は世界三大宗教であるユダヤ教，キリスト教，イスラーム教に共通しています。13 世紀末以降，オスマン支配下の社会では，イスラーム教徒と東方キリスト教徒の共生が当然のこととでした。つまり多宗教多言語が当然でした[46]。

たとえば，イスラーム教徒は豚肉を食べないハラーム食品について認知度も高まっています。

しかし，『コーラン』(正式な名称『聖クルアーン』)のアル・マーイダ 5 章 6 節には次のように書かれています。「今日すべての佳き物はお前達のため合法とされたり。また経典が授けられし人々の食物もお前達に合法なり。そしてお前達の食物は合法なり」，とユダヤ教徒のコーシェルのように厳格ではなく，「経典」である旧約を聖典とするアラブ・オーソドックスの信者が食卓で振る舞う豚肉を食べてもかまわないとします。結婚についても，同じ節では，同じ経典の民同士ならば，宗教が異なっていても，たとえば，キリスト教徒の女性とも婚姻することができると認めています。「また信徒たる女性のうち貞節な女達，並びにお前達以前に経典を授けられし人々のうち貞節な女達も，彼女等にその婚資を与えて(正式に)結婚し，私通することや秘密の愛人とするに非ずば，(お前達には合法なり)」，と異教徒との結婚も認めています[47]。

ローマ・カトリック教会は，非寛容にも，イスラーム教圏において蹂躙し，モスクを破壊し，その上に教会を建造してきました。そのことをヨハネ・パウロ・二世[1920-2005 ポーランド出身の教皇]は，2000 年 3 月 12 日，「(十字軍遠征，異端審問などでは)異端に対する敵意を持ち，暴力を用いた。これらカトリック教会の名誉を汚した行いについて謹んで許しを求める」，と赦しを請うミサを行いま

[46] 『オスマン VS.ヨーロッパ』(新井政美 講談社選書メチエ 2002 年 83 頁)。
[47] 『聖クルアーン』(イスラム・インターナショナル・パブリケーション 2016 年 317 頁)。

した[48]。

社会学者の村田充八は,「宗教的指導者は，どのような宗教においても，平和や正義を願う為政者や信徒を世界に送り出す努力をすべきである。パレスチナにおいても，ムスリム，イスラーム教徒とユダヤ教徒が共存していた時代があったとされる。それは，おそらく，一つには，当時の宗教的指導者や為政者が，暴力に訴えることを望まず,『対話』をとおして問題を処理し，宗教の真理に聞こうとする態度を貫いたからではないか」，と共通項に立ち戻ることを示唆します[49]。

アメリカの詩人イライザ・グリズウォルドは，ジャーナリストとして世界の紛争地をまわり，キリスト教とイスラーム教のふたつの宗教の深いかかわりを記しています。「ムハンマドが自分の村を追い出され，ターイフで石を投げられましたが，黙ってメディナ(マディアーナ)に向かったことも知っています」。ムハンマドの『言行録』によれば，西暦619年，メッカの南東110キロあまりのところにあるターイフというアラビア半島の山麓の町に旅をしました。農民たちは彼を歓迎するどころか，石を投げつけ，血だらけになった彼を町から追い出したのです。その後，大天使ガブリエル(アラビア語ジブリール)が預言者ムハンマドのもとに現れて，ターイフに報復したいかどうか尋ねます。「預言者は，顔の血を払いながら,『主よ，あの人たちを許したまえ。彼らは知らないのだから』と祈り，報復を断りました。ムハンマドはイエスとその教えを知っていて，自分が死ぬ前に，イエスのように信仰のためなら喜んで死んでいくように信奉者に指示しました。ムハンマドの言葉は，十字架にかけられたイエスの『父よ，彼らをお赦しください。自分が何をしているのか分からないのです』という嘆願とまったく同じです」，と[50]。

＜結論＞

シリアに2011年，内戦の炎が燃え上がりました。シリアを目の敵にしているイスラエル，アメリカの軍事支援，侵攻，存在を無視できません。2011年のシリアの内戦に端を発する21世紀最大の人道上の悲劇に，西方教会(ローマ・カトリック教会，プロテスタント教会)は無関心だったと言えます。今年2月6日の大地震にあって，トルコに対しては惜しみない世界各国からの救援が届けられています。一方，同じ規模の災害地アレッポに対しては，黙殺されてきました。政治と宗教が結託[51]すると人権はないがしろにされます。宗教上の対立の壁を無視することはできません。西暦一世紀から存続してきたアラブ・オーソドックスについて，欧米を中心とする西側諸国は，途中でなくなったかのような先入観があります。イスラーム教が中東を席巻しますと，ますます東方正教会の存在など忘却してしまいました。しかし，2000年間，初代教会以来，連綿として息づいてきたのです。イスラーム教と共存してきました。

シリア正教会や，中東のアラブ・オーソドックスは，ネストリウス主義者[52]，非カルケドン信条 として

---

48 『NHK』(2000 年 3 月 13 日午前 6 時半)。

49 『戦争と聖書の平和』(村田充八 晃洋書房 2018 年 201-202 頁)。

50 『北緯 10 度線』—キリスト教とイスラームの「断層」—(イライザ・グリズウォルド 白須英子訳[岩村が改編] 白水社 2011 年 36 頁)。"***The Tenth Parallel***" Dispatches from the Fault Line Between Christianity and Islam Eliza Griswold Straus & Giroux, LLC 2010。

51 政治と宗教が断絶しないで直接的に関係づけられてしまう危険性の中に，こうした問題の重要性があると，プロテスタント神学者パウル・ティリッヒ[1886-1965]は語ります。「アメリカの状況では，……一つには，平和を求める雰囲気が残っているなら，戦争を繰り返し否定することができるだろう。さもなければ，戦争を引き続いて肯定するかもしれない。これまで，戦争中のプロパガンダによって，十字軍の精神が昂揚されてきた」，とキリスト教神学における危険性を指摘しています。拙論「キリストはキリスト教だけのものではない 第 1 次トルコ災害ボランティア報告」(2020 年 15 頁)。

52 水垣渉氏は神戸国際支縁機構の設立理事のひとり。『キリスト論論争史』(同上 207-286 頁)。筆者が 1994 年，神戸改革派神学校で組織神学を聴講していた際，校長牧田吉和氏もネストリウスの主張は異端とは言えない，と言明しておられました

異端視されてきました。英国の神学者アリスター・マクグラスは，「ネストリウスは，彼の敵対者が考えるよりはるかに正統的であったが，正統の程度については不明確なままで論争され続けた」[53]，と述べています。非カルケドン信条[54]として異端視されてきました。しかし，「私たちも数は多いが，キリストにあって一つの体であり，一人一人が互いに部分なのです」(ローマ 12:5)の「キリストにあって」(ギリシャ語 ἐν Χριστῷ エン・クリストー *en Christō*)という信仰の土台は共通なのです。「異端」宣言はローマ・カトリック教会の公会議が担ってきました。コンスタンティノポリス総主教だったネストリウス[381-451]は，聖母マリアを「キリストの母」(クリストトコス)と唱えたため431年に異端として排除されました。「神の母」(テオトコス)と呼ぶべきだとアレクサンドリア総主教のキュリロス[376-444]は主張しました[55]。しかし，ハンス・キュング[1928-2021]は「キュリロスという人物は良心の呵責などというものをまったく知らない権力政治家であり，彼が操作する人物たちの手助けによって新しい公会議において自己の立場を強引に押し通すことにもまったく躊躇しない人物であった」，とキュリロスを評しています[56]。

ヤン・フス，ジョン・ウィクリフやヴァルド派などの末路はどうでしたか。歴史の表舞台から跡形もなく抹殺されても，依然として聖書信仰のたいまつは燃え続けています。神の是認を得ていなかったかどうかは神のみが知る範疇です。

---

[53] 『キリスト教思想史入門―歴史神学概説』(アリスター・E・マクグラス 神代真砂美，関川泰寛 キリスト新聞社 2008 年 85 頁)。

[54] 『エウテュケスとネストリオス駁論』では，キリストの中に「二つの本性から」(ex duabus naturis)また「二つの本性において」(in duabus naturis)成った神と人との結合があるということの意味をラテン語で探究している。451 年のカルケドン公会議の後，「オリエンタル・オーソドックス」として知られることになる諸「教会」は，「非カルケドン的教会」として，また「キリスト単性説派の教会」として，コプト教会，シリア教会，アルメニア教会は論争が長引いた結果，ローマ・カトリック教会や正教会からも分離した状態にとどまってきた。『異端信仰』(G・R・エヴァンズ 木寺廉太訳 教文館 2008 年 104-105 頁)。

[55] 『異端事典』(チャス・S・クリフトン 田中雅志訳 三交社 1998 年 160-161 頁)。

[56] 『キリスト教 本質と歴史』(ハンス・キュンク 福田誠二訳 教文館 2020 年 293 頁)。拙論「春学期の『現代キリスト教弁証学』」(同 34 頁)。http://kicc.sub.jp/wp-content/uploads/2023/05/92fd4e095db7399b349b4fe3e66c84f0.pdf